

青少年うご

伸びよう

育てよう

羽後の青少年

イツモはモシモに通ずる

青少年育成羽後町民会議

会長 沼澤 晴夫

二〇二二年はコロナ禍が収まらないなかロシアのウクライナ侵攻が始まり、世界が混沌の度合いを深めました。風水害や土砂災害のニュースも多く、また海を隔てた半島から繰り返されるミサイル発射実験に、思わず「またか」と呟いてしまったのは私だけではないでしょう。

世界情勢の混乱、地球環境の悪化、自然災害への危機等々、そうした漠然とした不安な「時代」が、青少年に影響を与えていることは否めません。しかしだからといって、私たちはいつも非常時想定でいられるわけでもありません。

28年前に起こった阪神淡路大震災の被災をきっかけにまとめられた一冊の本『親子のための地震イツモノート』という防災関連書籍があります。そこに、こういう一節がありました。

「地震が起こる可能性は、モシモではなくイツモ。イツモしていることが、モシモのときに役立つ。」

基本的には「モシモ型防災」から「イツモ型防災」への転換。つまり日常の暮らしの一部を防災という目で見つめたり、普段の行動を災害時に役立つよう再構成したりすることで、非常時を支える礎を堅くしようという提言です。

これは災害に限らないことでしょう。個人的な突発事項にも当てはまる気がします。人は成長する過程で、様々な事態に遭遇します。レベルは異なっても苦難や辛を経験することなしに生きることはできません。そうした「モシモ」に出会ったときに発揮できるのは「イツモ」の力なのです。

あなたが、いつもしている子どもへの接し方、言葉かけは、もしもの時も通用しますか。危機や壁を乗り越えるために心を強くし、力を養うものになっていますか。



青少年育成羽後町民大会

令和4年12月3日
青少年育成羽後町民大会より

会員募集!

青少年育成羽後町民会議では、各種青少年育成関係団体の皆さんと一緒に手を取り合って、青少年を非行から守り、青少年が夢と希望の持てる町づくりを進めようと活動しております。

この会は町の補助金と、地元の実業、民生児童委員、その他の多くの町民の皆さんのご協力で運営されております。この趣旨をご理解いただき入会をお願いいたします。

・個人会員 年会費 千円
入会のお申込みは、
羽後町立中央公民館内
青少年育成羽後町民会議事務局
まで

☎(62-1128)

※御協力いただいた企業・団体の皆様
㈱柴田組、㈱佐藤建設
うご農業協同組合、(有)藤原組
㈱小野建設、㈱木村工務店
西馬音内ロータリークラブ
羽後地区交通安全協会、羽後町議会
羽後地区少年保護育成委員会
羽後町校長会、羽後町教頭会
羽後町民生・児童委員協議会
(順不同)
ありがとうございました。

